

# 北海道地方ESD活動支援センター ESD for 2030 学び合いプロジェクト 気候変動教育連続勉強会



## ● 「気候変動教育」の体系化と普及を目指して

脱炭素社会の実現には、個人のライフスタイルだけではなく、社会と経済の仕組みそのものを変える必要があります。そのためには、多くの人々が気候対策の必要性や可能性を理解し、変化を前向きに受け入れていくことが求められます。北海道地方センターでは、国内の気候変動教育の本格的な体系化や地域での普及を目指し、関心のある皆さんと情報共有を行う連続勉強会を開催しています。



第1回

[日時] 2021年7月14日(水) 13:30~15:00 [参加者数] 91人  
[テーマ] 地域におけるこれからの気候変動教育を考える  
[講師] 高橋敬子氏(立教大学社会学部特定課題研究員・ESD研究所特任研究員)

第2回

[日時] 2021年7月26日(月) 16:00~17:30 [参加者数] 98人  
[テーマ] 気候変動教育のエッセンス国際的に見た日本の課題  
[講師] 永田佳之氏(聖心女子大学現代教養学部教育学科教授)

第3回

[日時] 2021年9月7日(火) 16:00~17:30 [参加者数] 69人  
[テーマ] 気候変動の地元学による共学と共創  
[講師] 白井信雄氏(山陽学園大学地域マネジメント学部教授)

第4回

[日時] 2021年9月29日(水) 16:00~17:30 [参加者数] 70人  
[テーマ] 学校向けプログラムの開発と実証  
[講師] 水上聡子氏(アルマス・バイオコスモス研究所代表)  
福岡真理子氏(一般社団法人あきた地球環境会議事務局長)

第5回

[日時] 2021年10月21日(木) 16:00~17:30 [参加者数] 57人  
[テーマ] 学校教育とNPOの連携による学習の仕組みづくり  
[講師] 豊田陽介氏(特定非営利活動法人気候ネットワーク上席研究員)  
服部乃利子氏(特定非営利活動法人アースライフネットワーク専務理事)

第6回

[日時] 2022年2月25日(金) 18:00~19:30 [参加者数] 56人  
 [テーマ] 学校教育におけるESDの実施状況と教員の意識  
 - 中学校、高等学校に対する全国調査2020の結果から -  
 [講師] 谷田川ルミ氏(芝浦工業大学工学部教授)  
 栗島英明氏(芝浦工業大学建築学部建築学科教授)

第7回

[日時] 2022年10月27日(木) 14:00~15:30 [参加者数] 62人  
 [テーマ] 社会変容と気候コミュニケーション  
 [講師] 江守正多氏(東京大学未来ビジョン研究センター教授/国立環境研究所地球システム領域上級主席研究員)

第8回

[日時] 2022年11月8日(火) 14:00~15:30 [参加者数] 63人  
 [テーマ] オーストラリアにおける地域の気候変動対策を担う人づくり  
 [講師] 高橋敬子氏(立教大学社会学部特定課題研究員・ESD研究所特任研究員)

第9回

[日時] 2022年12月13日(火) 14:00~15:30 [参加者数] 40人  
 [テーマ] 若者のシビック・アクションを促進する気候変動教育とは?  
 ~他者協働・社会参画アクションのすすめ~  
 [講師] 森朋子さん(国土館大学政経学部政治行政学科 専任講師)

ポイントを押さえてとても具体的に教えてくださり大変参考になりました。子どもだけでなく家族や企業、地域まで広げることが大切というところにも感銘を受けました。  
 (第5回アンケートから)



## 関係者間での意見交換の場(主催)

温暖化防止活動推進員として主として意識啓双方向のコミュニケーションの重要性を改めて学ぶことができました。  
 (第8回アンケートから)

## 気候変動教育意見交換会 in 札幌

日時: 2022年9月29日

参加者: 16人

(教育、行政、企業関係者)



## ESD全国ネットワーク団体 意見交換会第2部

日時: 2022年9月12日(月) 13:00~16:30

参加者: 40名(ESD関係団体)(対面)

主催: ESD活動支援センター、北海道地方ESD活動支援センター

全9回合計

**603**人の参加(のべ人数)

**299**件のアンケート回答

北海道内 16.4%

北海道外 83.6%

大変参考になる 71.6%

まあ参考になる 26.1%

どちらでもない 2.3%